

市市辺だより

第8号

令和3年11月

市辺コミュニティセンター発行

TEL22-0203

IP050-5801-0203

季節の寄せ植え作り 参加者募集

年末年始の玄関を華やかに飾る寄せ植えを作りませんか。
ご自宅の空きプランターを持って来ていただき、園芸店から届いた花苗を自由に植えていただきます。

奥外での作業となりますので、温かい服装でご参加ください。

(荒天時は屋内開催へ変更します)



日 時：12月14日(火) 午前9時30分～

場 所：市辺コミュニティセンター前駐車場

参加費：1,300円(花苗・土は準備します)

持ち物：プランター(7～8株植えられるサイズ)

・移植ごて・エプロン・手袋・タオル・マスク

募集人数：先着20名

受付開始：11月15日(月)午前9時から

お電話でお申し込みください。

市辺地区文化祭開催します

日程 11月4日(木)～7日(日)

時間 午前9時～午後5時まで(最終日は正午まで)

場所 市辺コミュニティセンター 前庭(催し物コーナー)

館内(作品展示)

今年も前庭に日替わりで催し物ブースがあり、館内には地域の皆様から出展いただいた作品展示をしています。密集対策として外待合テントを設置しております。皆さまお立ち寄りください。

※お車でお越しの方は第3駐車場(市辺グラウンド横駐車場)をご利用ください。



地域応援イルミネーション準備始まる！！！！

地域住民の皆さんへの応援事業としてコミュニティセンターの前庭をイルミネーションで飾る事業を行います。本事業はコミセン年間事業として計画していたものですが、ふれあい運動会や万葉フェスタが昨年が続いて中止となり、三大事業実行委員会の主幹である自治会連合会が代替え事業として取り組んでいただけることになりました。また、スポーツ協会にも賛同して頂き、イルミネーション事業の初年度として初期投資に協賛して頂き開催するものです。

自治会連合会では事業名を「イチナリエ」と名付け、この光がコロナ禍の希望の光になるように応援しようと準備中です。また、この電飾の施行にはびわこ学院大学 公報・ボランティアサークルの協力も頂いています。詳細は12月号でお知らせします。

お願い：開催時間中お車でのご来場の際、安全確保の為コミセン前庭駐車場は極力ご利用を控えていただきますようお願いいたします。市辺グラウンド横の第3駐車場をご利用ください。

市辺地区を明るく照らす

イチナリエ

＜開催予定＞

みんなで見に来てね♪

点灯期間 11月27日(土)～
翌年1月末
時間 午後5時～
午後9時まで

大型資源ごみ回収日お知らせ

令和3年12月4日(土)

回収できる物

一般家庭の金属製品・金属家具・自転車・バイク・農機具

回収できない物

家電製品一式(温風ヒーター含む)・テレビ・洗濯機・エアコン・
冷蔵庫・パソコン・タイヤ・ガレキ・ガスボンベ・ガラス・
びん類・自動車

回収対象(金属類)以外は一切回収いたしません。

詳しくは各戸配布のチラシをご覧ください、不明な点は各自治会長にお尋ねください。

市辺グラウンド除草作業ありがとうございました

10月2日、自治会連合会、スポーツ協会、各種団体代表、利用者の会の皆様に協力をいただきました。9月初旬に自治会連合会で除草剤散布をされ、この日枯れた草を大勢で引いていただいた結果、大変きれいになりました。



除草作業の様子



側溝での作業風景

また、グラウンド周囲の側溝の浚渫作業にも取り組んでいただき、大雨への備えもできました。

ご参加くださいました総勢64名の皆様ありがとうございました。



私たちのまち「東市辺」の歴史を振り返りますと、文化7年（1810年）には竹細工「籠・箆類の製造」が盛んに行われていました。

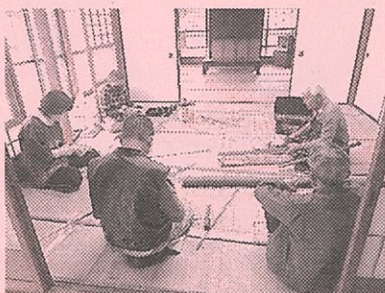
当時、竹籠作りを専業とするお家が数軒。また農業の合間に副業として多くのお家で竹籠作りがされていました。昭和20年～30年の頃には専業が6軒、副業は35軒あり、小学2・3年生になると竹みがきなどを子供の仕事として受け持っていたようです。

伝統産業として定着していた竹細工では「地かご・松茸かご・衣装かご」などは当時の生活用品として大変好評で、問屋や荒物屋への卸しが盛んに行われていました。

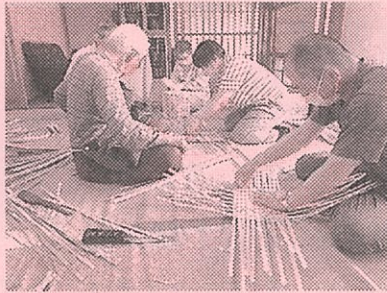
また、年末には八日市商店街へ仮店を構えての販売や近隣町村への行商もしていました。

竹籠製作 作業手順

① ひご作り



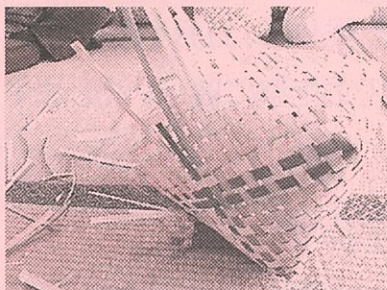
② 底入れ



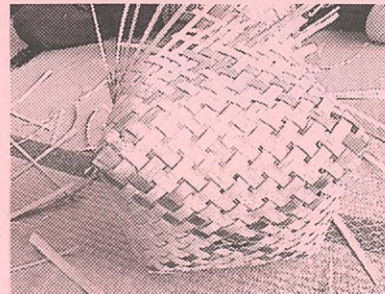
③ 立ち上がり1



④ 立ち上がり2



⑤ 立ち上がり3



⑥ 仕上げ



しかし昭和30年代になるとプラスチックなどの化学製品が広まり、竹製品の需要は次第に減少し、竹籠などは姿を消していきました。売れ行きと共に竹細工の製造を専業とするお家もなくなり、今では竹製品の製法を伝承されている職人さんが一人となっています。

そこで、町内の有志が集まり竹細工の製造技術を伝承し、伝統産業としてのモノづくりの灯を消さない活動することになり、サークル「東市辺継承会」を立ち上げました。

サークルメンバー10名は週2回の指導を受け、竹の選び方から始まり、ひご作りなどの基礎から、竹かごの製作技術と技能習得に努力しています。

古くは古保志塚村、市辺村と言われていたこの地「東市辺」の伝統産業を後世に伝え、伝承と継承に取り組むと共に、創作の竹細工品にも挑戦したいと夢を膨らましているわが町自慢「東市辺継承会」の紹介でした。

東市辺自治会

ふれあい学級開催しました



第4回ふれあい学級は西村ますみ氏をお迎えし、『笑顔健康法』と題して開催しました。

自らの経験から笑顔で過ごす事の大切さをお話いただき、明るい笑顔になるコツを手鏡を見ながら教わりました。健康長寿の為にも毎日を笑顔溢れるものにしたいですね。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。



次回のお知らせ 11月19日(金) 午後1時30分～ 『みらいノート』書き方講座

人生100年時代にむけて、『みらいノート』を使いながら今までの振り返りと、自分らしいこれからの暮らし等について書き込んでいっていただきます。

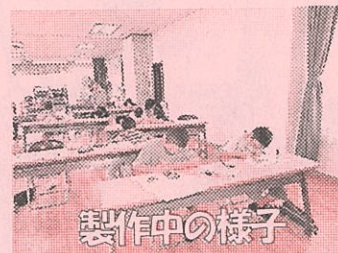


いちのべいきいき塾開催しました

『スタンドグラス風アートを作ろう』と題して20名の方が参加されました。自分のお気に入りのイラストを使って縁取り・色塗りをし、アルミホイルと

重ねて枠にはめれば完成！個々にアレンジも加えられ、オリジナルな作品が仕上がりました。

出来上がった作品は、11月4日～7日まで開催の地区文化祭に展示いたします。



社会福祉協議会からのお知らせ

次回のよってみてカフェこぼしは

11月26日(金) 午後1時30分～

開催です

皆さんお気軽に

ご参加ください！

いちのべキッズ開催のお知らせ

11月12日(金) 健康推進員さんと一緒にげんき講座

12月10日(金) クリスマス会 (要申込・参加費100円)

未就園児の親子が対象です。

皆さんご参加ください。



《時間》10:00～11:30

《場所》市辺コミュニティセンター

《問合せ》市辺コミュニティセンター

TEL 0748-22-0203

IP 050-5801-0203